

たかといちどいだよ



令和3年9月 第71号
たかといちどい保育園



秋の野に咲きたる花を指（および）折りかき数ふれば七種の花

はぎ 秋の花 おばな 尾花 くずはな 葛花 なでしこ 瞿麦の花 をみなえし 女郎花 また 藤袴 ふじばかま 朝貌の花 あさかほ

（万葉集）－ 山上 憶良 －

空が高くなっているように感じます。光の加減のちょっとした違いにも秋の気配が漂う頃になりました。今年も8月は本当に暑い日々が続きました。そして、あちこちに大きな被害をもたらした豪雨もありました。コロナ禍での、猛暑、台風、強風、長雨。大変な夏でした。

そんな中で繰り広げられたスポーツの祭典「東京2020」。開催についてはいろいろと意見が分かるところですが、競技を観ているときはそうしたことを忘れて、選手の最高のパフォーマンスに感動の毎日でした。今回のオリンピック、いろいろと考えさせられたのですが、その中から重苦しくないものを2題。

まず、「オリンピック精神＝スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」ですが、「国と国の競争」「メダル争い」が必要以上に強調され、この精神が忘れられているのではと危惧することがありました。「愛国心」の現われであることに違いありませんが、少し気になります。しかし、競技が終わった後、選手は互いの健闘を称え合い、この精神を貫いているように感じ、アスリートの純粋さに期待したいと思いました。

もう一つは「スポーツ」と「遊び」の違いです。新種目「スケートボード」は、私の感覚では「遊び」でした。それがオリンピックの競技種目になり、しかも、メダルラッシュに沸きました。古い考えに支配されていたことを大いに反省し、「スケートボードはスポーツ」と強く印象付けられました。そう言えば、子どもの頃、柔らかいボールで「手打ち野球」をしたり、1個のドッチボールをサッカーボールに見立てて追いかけ回したりしていました。遊びとスポーツの境目などないのかもしれないのだと教えられました。いずれも子どもたちの暮らしに生かせるものではないでしょうか。

そして今、パラリンピックが開催されています。競技そのものに心動かされることはもちろんですが、同時に、各選手のここに至るまでの逸話に勇気と力をもらっている毎日です。

今日から9月です。緊急事態宣言が続いていますが、この言葉に対する免疫力がついてしまい、気が緩んでいるということはないでしょうか。今一度、私自身の感染防止への意識を確かめ、子どもたちの笑顔を守っていきたくて考えています。冒頭の二首は山上憶良が秋の花を詠んだものです。厳しい状況の中においても、こうした秋の花を見つけ、ゆっくり愛でる心のゆとりは忘れないでいたいと思います。

上野 理生

9月の予定

避難訓練 1日(水)・16日(木)
誕生会 8日(水)
救急訓練 15日(水)
体育あそび 13日(月)・24日(金)
※24日(金)の体育あそびは午前中です。

発育測定

21日(火)～24日(金)





あさひぐみ



今月のねらい：外気に触れ、体をのびのびと動かして元気に遊ぶことを楽しむ



ふしぎだな…



ぐちゃぐちゃ！
たのしいね



よいしょ
よいしょ

8月は絵の具を指先につけて画用紙に色付けしたり、紙の上で手をいっぱい動かしてドロドロした米粉の感触を楽しんだりしました。子どもたちは手に絵の具がついてもへっちゃら！「キャー！うわー！」と声をあげ、笑顔で遊んでいました。水遊びをしたり遊戯室で体を動かして遊んだりした後は、水分補給をし、部屋でゆったりと過ごしました。最近では、「自分でやってみたい」という気持ちが芽生えてきて、食べるものを手づかみやスプーンを使って口に運んだり、ズボンを自分で脱いだりする姿が見られます。自分でやってみようとする気持ちを大切に見守り、丁寧に援助していきます。今月は散歩に出掛けたり、屋上で遊んだりして外気に触れ、体をのびのび動かして遊び、元気に過ごせるようにしていきます。



ひかりぐみ



今月のねらい：保育士に手伝ってもらいながら、身の回りのことをしようとする

水を入れて…



色水をジュースに見立てて遊びました。好きな色の水をコップに入れる子どもたち。「何味のジュース？」と聞くと、「みかんジュース！」「メロンジュースができた」と嬉しそうに答えていました。さらに、氷を入れたり、友だちと乾杯をしたりして、楽しんでいました。これからも見立て遊びを楽しめるような環境を用意し、子どもの表現に共感し、一つひとつを丁寧に受け止めていきたいと思えます。

ジュースできた！



最近、自分でズボンを穿こうと一生懸命取り組んでいます。今月は、自分でしようとする姿を認めながら、様子に合わせて援助していくことで、身の回りのことを自分でできた喜びを感じられるようにしていきます。



にじぐみ



今月のねらい：自然に触れ、友だちと一緒に散歩することを楽しむ



じぶんのできるよ！



ここを
もって…

「みていてね」「よいしょ」と言いながら、自分で服の脱ぎ着をしている子どもたち。難しそうにしている時には、首元や袖口の位置を伝えたり、さりげなく手伝ったりして、自分でできた達成感を感じられるようにしています。また、何でも「自分でやりたい！」という思いが強くなってきて、最近では脱いだ服を畳むことにも挑戦しています。服をつまむ位置や畳み方を伝え、保育士の真似をして丁寧に畳み、「できたよ！」と嬉しそうにする様子もあります。引き続き、できた満足感を感じながら取り組めるように関わっていきます。

暑さのため戸外に出るのを控える日が続いていましたが、今月は過ごしやすい日には散歩に出掛け、自然に触れてのびのびと遊びたいと思います。また、子どもたちの気づきや発見に寄り添いながら、散歩を楽しめるようにしていきます。



きいんグループ



今月のねらい：食事のマナーに
気を付ける



ポテトが
あがりましたよ！



いっしょにたべよう！



みんなで作ったハンバーガーの具材やお店を使って、ハンバーガー屋さんごっこをしました。注文を聞いた店員役の子どもが大急ぎでハンバーガーを作る姿は、まるで本物の店員のような様子でした。自分の思いを伝えながら、みんなでお店屋さんごっこを楽しんでいました。今後も異年齢で活動することのよさを生かし、ごっこ遊びを発展させていきたいと思います。

今月は、給食を食べる時の姿勢や、箸の持ち方などを意識できるように、食事をする時のマナーについて一緒に考えていきます。



うさぎグループ



今月のねらい：友だちと協力して様々なものを作ろう

のどかわいたね



水分補給

汗の始末



いっぱいあせかいた
から、きれいにふこう

たくさんたべたら
げんきになるよ



食事

暑さが本格的になり、少し体を動かすと汗をたくさんかく姿が見られました。暑い夏も元気に過ごすためにはどうしたらいいか、子どもたちと話す機会をつくりました。「あせをいっぱいかくから、しっかりおちゃをもう」「げんきにすごすためには、たくさんごはんを食べるといいとおもう」「あせをかいたらしっかりふく」など、考えたことを伝え、自分たちで進んで取り組んでいました。まだまだ暑い日が続きます。引き続き、暑い時期の生活の仕方について伝えていき、元気に過ごせるようにしていきます。

今月は、様々な素材や用具を使って、みんなで協力して海の生き物作りをして遊びます。



そうグループ



今月のねらい：友だちと季節ならではのぐっこ遊びを楽しむ

いっぱいおおきくなって〜



トマトとパプリカとったよ〜



みんなでトマト・ナス・パプリカなどの夏野菜を育てました。自分たちで育てたことで、今まで苦手だった野菜も意欲的に食べようとする子どもたちが増えてきました。「みんなでそだてたやさい、おいしいね」と友だちとやりとりをしながら楽しそうに給食を食べていました。また、収穫や観察をした際は、「こんなに大きくなったよ」「きいろにかわってきている〜」と驚きや発見を伝える姿も見られました。今後も子どもたちの傍で「おいしいね」「〇〇入っているね」等の言葉かけをし、様々な食材に興味を持ちながら楽しく食べられるように関わっていきます。

今月は、秋ならではの芋ほりごっこをしたいと思います。様々な素材を使って、友だちとさつま芋を作ったり体で芋ほりを表現したりして、ごっこ遊びを楽しみたいと思います。

9月の予定 (キッズ)

救急訓練16日(木) 避難訓練3日(金)・22日(水)

※避難訓練・救急訓練以外の
行事は、たかとりちどり保
育園と同じです。



キッズ



今月のねらい：体を思い切り動かすことを楽しむ

ねんねんね〜♪



きもちいいな

すやすや〜



トントンして

どんな夢を
見ているのかな？



ご飯を食べてお腹がいっぱいになった後はお昼寝の時間です。あさひぐみは、保育士が抱いて子守唄を歌うと笑顔を見せ、保育士の顔や手に触れ、うとうとしながら気持ちよさそうに眠っていきます。ひかりぐみは、自分の枕タオルを見つけるとコットに横になり、保育士が優しく体を触ると安心して眠ります。にじぐみは、自分でコットに行き保育士が見守る中、静かに眠れるようになりました。一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心できるように関わることで一定時間ぐっすり眠れるようになりました。

昼寝をすることで情緒が安定し、体力も回復するという効果があります。疲れが出やすい時期ですが、これからも毎日体を動かし、シャワーや着替えをして気持ち良く過ごし、ぐっすり眠り体を休ませ、健康に過ごせるようにしていきます。

今月は、巧技台、ハシゴ、ぱふクッション、平均台などを使って体を動かして遊びます。いろいろな運動遊具を使ったりゲームをしたりする中で、ハイハイ、伝い歩き、かけっこ、ジャンプ、くぐる、登る、降りるなど全身を使った遊びを楽しんでいきます。



《 息子に触発されて 》



我が家には高3になる息子がいます。息子を育てることで、面白い体験をしました。自分自身が全く知らなかった世界、ひょっとしたら知らないまま一生関心を持たなかったかもしれない世界に連れて行ってもらったのです。そんな不思議な体験を紹介します。

息子が1歳半頃、走っている車から見える景色の中でマークに興味を示しました。コンビニの看板、宅配車のマーク、交通標識などです。『あれは？』『これは？』の問いに一つ一つ答える日々。ある時、本屋でマークの本を見つけ購入しました。それからは絵本を読むように『これは？』『郵便局のマーク』『これは？』『踏切のマーク』毎日毎日続きました。いつのまにか私自身が街中にあるマークが目がいくようになり、たくさんのマークを覚えました。

次に息子が興味を持ったのが、車、トミカ、プラレール。車会社のちらしを切り抜き、貼り付けたり車のカードを作ったり。あちこちで行われるはたらく車のイベントやバス・電車会社のイベントにもよく行ったものです。実際に車や電車に乗れることは息子にとっては刺激がいっぱい。私も車や電車の名前や働きを覚えました。街中を散水車が走っていると後ろには必ずロードスイーパーという道路の端を掃除するブラシの付いた車が走ることを知り、それを見るとテンションが上がったものです。

次に興味を持ったのがウルトラマン。ウルトラマンの人形を買ったりウルトラマンに会えるイベントに行ったりしました。今はなくなりましたが熊本でウルトラマンランドへ行き、ウルトラマン仕様のホテルに宿泊しました。部屋にウルトラマンが来てくれた時には、親子共々にテンションマックス!! 私もウルトラマンに詳しくなりました。息子を育てることで、一生興味を持たなかったかもしれない世界に連れて行ってもらいました。皆さん、日頃仕事、家事、子育てとお忙しいと思いますが、子どもが興味を持っていることにちょっと付き合い、一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。子どもは喜び、皆さん自身もこれまでとは違った世界が見え始めること間違いなし。これこそ子育てを楽しむ奥儀かもしれないと思い始めています。

坂田 美奈